

**SHIMIN PRESS** の  
アドレスが変わりました。  
新しいURLは  
**WEB SHIMIN**  
<http://shimin.camelianet.com/>

# SHIMIN PRESS

## 市民プレス：第14号

2004年03月01日  
(隔月刊、無料配布)  
発行人 特定非営利活動法人  
「市民フォーラム」  
編集人 原 昭 二  
制作・印刷 デジタル工房  
FAX 048-476-9111  
〒353-0004  
埼玉県志木市本町 5-18-24

### 地域の自然を生きる



写真 カワセミ  
新河岸川の畔で  
後藤邦吉氏撮影



このような大型の開発において、提供公園の設置が義務づけられているが、無償で貸借される「ふれあいの森」が加えられることによって、跡地の北側および西側斜面の緑の保全は確かな一歩を進めることができた。シンボルであった株立ち大イチョウも移植によって残され、かつてはタヌキが棲息していたことを記憶にとどめるよう、提供公園は「大原ぼんぼこ公園」と呼ばれることも決まった。

○写真右 やがては「大原ぼんぼこ公園」となる現地のいま  
○写真下 斜面林の保全はされたが、巨大な高層住宅の建設は空にも向かって進行する。中央に移植されたシンボルの株立ちイチョウが立つ  
いずれも「志木ガーデンヒルズ」のモデルルーム屋上から撮影



ここに設けられた「ふれあいの森」の整備と利用は、新旧市民の貴重な接点としても期待される。しかし、長年の懸案であった西原特定土地区画整理地区内にあることから、線路側の道路建設がはじまり、森の一部は無惨にも削り取られた。



本紙7号で、西原の斜面林に復活した「せど湧水」を紹介した。武蔵野台地が低地に移るところ、かつては鎌倉街道が通い、江戸時代に入ってから野火止用水が流れていた歴史的な地域である。東上線がこの斜面を横断し、いまでは志木市のニュータウンと、古くからの集落が境を接するところとなつて、ユニークな景観をもつ。

写真右 工事現場には伐採した古木の根が山積みされた(手前)。右側の線路は柳瀬川駅に向かう写真左 その反対側、ニュータウンから志木駅に向かう工事現場を見る



「西原ふれあいの森」はいま

### 「けいおうふれあいの森」の誕生

このたび、事業者である三井不動産、三菱地所株式会社と志木市は、将来に向かつて保全すべき慶応志木高校寮跡地の斜面林の一部1260㎡を、三十年という長期にわたり、無償で使用貸借する契約に調印した。

これは近隣の住民を加えた三者協議(本紙第11号参照)を基礎とするもので、志木市はその管理にあたり、「けいおうふれあいの森(仮称)」として市民に公開する。期間満了後も、両者からの意思表示が無ければ、自動的に貸借は延長される。管理に関する協定も締結された。

事業者とは利害を異にする近隣の住民が、行政に訴えて、大規模な開発にあたる事業者を加えた三者で積極的に協議を進め、その結果、緑への熱い想いを結実させたことは、将来に向かつての道しるべとなるものだ。

このような緑への市民の熱い想いは、どこから来たのであろうか？その素地が、将来を見据えた卓見によって、すでに注目を浴びてきたこと。源流は、昭和51年(1976)に定められた「志木みどりの条例」に発している。

1993年志木市は当時の文部省より「環境教育推進モデル市」に指定され、市民の手によって、環境基本計画を策定する機運が高まった。市民グループ「エコシティ志木」が結成され、活動をはじめたのも機を一にしている。「エコシティ志木」に、(財)埼玉県生態系保護協会志木支部の方々が加わり、それらの強力な支援によって、「慶応高校の緑に想いを寄せる会」の活動は、多くの市民の共感を得ることができた。

『ローマは一日にして成らず』のことわざにあるように、思いつきは後の世には残らない。みどりの少ない志木市では、平成13年に、緑の基本計画を策定し、緑地保全のための地区指定の方針を決めたが、この計画に参画した方々が、慶応志木高校の寮跡地に残る斜面林の保全のために、近隣住民の先頭に立って行動したのだ。

因みに一昨年のワースト10には、朝霞市浜崎の「ハケの山」の開発が選ばれた。その対比において落差は余りにも大きい。

### 志木市の「ふれあいの森」は六つに増えた

地主の好意で市当局と貸借契約を結び、整備されてきた「ふれあいの森」は、すでに「柏町」「中野」(ともに柏町)、「稲荷山」(西原)とともに幸町、「市場」(本町)があり、市民の憩いの場所となっている。

このグループには「水と緑」「ごみとエネルギー」「保健・福祉」「まちづくり」の四つの部会があり、斜面林の手入れ、渡り鳥をはじめとする動物、植物の自然観察などのイベントを計画的に行っている。

「エコシティ志木」は、地球にやさしい街、くらしやすい街を目指して、市民の目で見ると、考える「環境基本計画(ローカルアクション)」を、行政、企業の参加のもとに共に策定する。さらにその目標の実現に向かつて行動することを宣言している。

### 市民と自然は共生できる

「ふれあいの森」は地主の好意で

池谷氏が動物病院を開業して間もなく、天然記念物となっていた「野田のシラサギ」をはじめとして、ツバメ、ムクドリや、保護されたタカまで、多くの野鳥が持ち込まれたが、それは一帯に農薬が撒かれたためと知り、衝撃を受けた。

二百年も棲息していた野田のシラサギは間もなく絶滅し、特別天然記念物の指定は解除された。傷ついた多くの野生の鳥獣の治療にあたり、ついにはその死を見届けた池谷氏は、やがて人間にも重大な問題がおこることを予感し、先頭に立って同志を募り、この協会を設立された。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

「エコシティ志木」は、産声をあげたのは、1995年のことであつた。

### 「エコシティ志木」は活動する



その⑬

## まぼろしの

## 朝霞大仏と梵鐘

―朝霞基地の歴史―

歴史教育者協議会

金子 眞

### プロローグ・ 昭和の地域開発

昭和十一年（一九三六）に出版された「大東京史蹟名勝地誌」の公園と風致地の項に「大泉風致区」という記事があります。

「東京市北西隅、板橋区にある。面積百萬坪餘、八風致区中第二の広さを有する、大泉学園が本地区の大部分を占め、雑木林、赤松林、薄の原等相交錯し、武蔵野の面影の最もよくあらわれた地である。この広い土地は、風致区としての設備が思いのまま講ぜられることであろう、現に東京市は市民農園を設け、その利用は益々盛んになつて来た。北に接して朝霞ゴルフ場あり、又朝霞公園も計画されている」と記されています。

この朝霞公園は根津公園と呼ばれ、「奈良と同じ大仏」を建立する大公園だったのです。今の朝霞の第四小学校の裏山は、武蔵大学

のグラウンドになり、昔のすがたは残ってはいませんが、日米演習場だった頃は、膝折の方から谷が入りこんで、小さな流れをつくりその奥の方には、湧水をともなった池がありました。

変わったと記されています。朝霞の地名は、このゴルフ倶楽部の会長の朝香の宮にちなんだと云われています。当時、西武線は武蔵野線と呼ばれ、大泉駅から、学園都市、文化住宅、市民農園と、東京周辺の地域開発が始まりました。

昭和のはじめ、この地域の人は、自然と緑を求めてこの地にやって来て住みはじめ、武蔵野の雑木林を切り開いてゴルフ場や遊園地をつくっていききました。

### 一・地域開発以前

昭和のはじめ、この地域開発がはじまる前は、川越街道から大泉までは雑木林と野原で、所々に畑のある「武蔵野」そのものでした。江戸時代も、明治も、大正も、農民はこの山に、冬になると「くずはき」にいきま

### 二・大仏建立

膝折の宿場町を流れる水の「出元」は、根津公園の中央にある池でした。今この流れは武蔵大学のグラウンドで埋めてしまいましたが、きれいな水がとうとうと流れていました。

この池を背に、大仏建立が計画されたのは昭和八年です。

### 三・大梵鐘

朝霞第四小学校と武蔵大学の間の道をまっすぐ入った突き当たりが、大仏建立の場所でした。ですからこの道にはまだ大きな桜の並木が残っている参道のおもかげがあります。

大仏建立は、今の第四小学校の奥の基地の中にあり、松林の中です。

その大仏は、根津嘉一郎（ねず・かいちろう）氏の計画したもので、その構想は巨大なもので、今でも膝折の人々に語りつがれています。

彫刻家内藤伸氏により原型がつくられました。昭和十一年には松田尚之氏により原型模型が完成しました（東京日日新聞）。

奈良の大仏は、高さ十六m、台座の直径は二十mという大きなものですが、これよりひとまわり小さい大仏で、しかも露座の大仏で、コンクリートでつくると云うのです。

実際に工事がはじまり、まず大仏の基礎工事として土の中にコンクリートが打ち込まれました。

現場には高さ二十mの鉄骨づくりの建物が建設され、高さ十四mの大仏の原型がつくられました（東京日日）。

昭和のはじめ、ビルを建てるような足場が突え立ったのですから町の人々はただ、ただ驚くばかりでした。

いよいよ、外型と呼ばれる石膏の型がつくられようとなりました。

大仏の座したまわりに蓮弁（れんぺん）があります。この蓮弁は、一枚一枚銅で鑄造されました。

奈良の大仏殿の前に、高さ四・六mの八角燈籠（はつかく・とうろう）があります。これより大きいものと、朝霞の大仏の燈籠は、その大きさは東洋一というものがつくられました。

お寺には梵鐘がつきものです。日本一、東洋一の高橋才次郎氏が、朝霞にやって来て家をつくり、そこに住み、鑄造にとりかかりました。赤土に大きな穴を掘り、その中で鑄造したのだそうです。

その後、

梵鐘は出来上がりしたが、何しろ東洋一なので、鐘楼も東洋一なのをつくらねばなりません。

梵鐘は、大穴の上に丸太をわたして、その上に置いてありまして、近所の子供たちは、よくその梵鐘の穴に入ってお

にぐっこをして遊んだそうです。梵鐘についている凸凹に足をかけて登ったり下りたりもしました。

ある時、一度だけこの鐘をついてみることにになりました。町中の人が集まって来まして。その音は、武蔵の原にしみわたるような、すばらしい音でした。

この鑄造師は、梵鐘のあと大燈籠、蓮弁などつぎつぎにつくり、また、大仏のまわりにおく数多くの仏像も鑄造しました。

雑木林と萱野（かやの）の続く原に、人々が毎日のようにおがめる大仏が出来るのです。そして多くの人々がこの朝霞の地を訪れて、まさに、朝霞駅前がこの大仏までは、門前町になる。町の人々の心は大きくふくらんでいきました。

### 四・戦争

ところが、昭和十三年

上写真・根津公園大梵鐘

同・朝霞大仏原型

「あさかの歴史」一八三ページ（朝霞市・平成九年発行）



（一九三八）国家総動員法が国会を通り、十五年には国防国家体制が確立し、有事のときは、「一旦緩急あれば」と、新体制運動、大政翼賛会、そして国民精神総動員体制が、国家のもとになされました。

昭和十六年（一九四一）第二次世界大戦がはじまり、国民は困難な道をたどり、国民は困窮に陥りました。

農民は男を戦争にとられ、田畑は女・老人子どもにやってきました。今もの仕事になりました。都会では、食糧不足、衣料不足、住宅は焼かれ、人々は窮乏のどん底におちいりました。

あの巨大な、大仏の型は叩きくずされて、がれきの山となりました。いつのまにか、あの空にそびえるやぐらも姿を消してしまいました。

東洋一とうたわれた鐘は、しばらく穴の上に丸太をわたして置いてあったのですが、国は、戦争に使う大砲や鉄砲の玉にしようとしめました。膝折

の人々は驚きましたが、梵鐘を三つに叩きわって供出しました。日本一と云われる燈籠は、今は多摩霊園にあるそうです。基地の中に、コンクリートの土台が残っていました。今はそれもなくなくなりました。奈良の大仏と同じような蓮台もその一枚一枚は巨大なものです。この蓮台は戦争後も朝霞に置いてありましたが、やがて、高橋さんがこなごなに叩きわって持ち帰ったそうです。

こうして、朝霞の大仏は「まぼろしの大仏」となりました。

昭和十六年十月、それ以前に都内にあった予科士官学校が朝霞にやってきました。今の川越街道の南がわ

大泉まで、東京ゴルフ場を含んで、その広さは、二四二万㎡、八十万坪におよびました。そしてこの大仏のあった、根津公園を含む一〇〇万㎡、三十万坪は、士官学校の演習場になり、大きな射撃の山がつくられました。人々は、ここを射撃場と呼んでいます。

大仏開眼もつゆと消え、朝霞は軍隊の町になつてしまいました。あのいまわしい戦争にまきこまれた町とし



明治四十二年測図、  
昭和四年第二回修正測図  
同七年要部修正測図（国土地理院）

# 桜の咲くころ



DNAの解析で見直される桜の品種  
異名同種が次々とわかってきた

サクラと云えば、野生種の山桜やマザクラだったが、ソメイヨシノなど日本人の桜好きが作り出した園芸品種は、三千種類を越えるという。

ところがである。異なる名前がつけられた品種が、実は同一の種では、と疑われている例が少なくなかったが、DNAで解析する手段を手にしたいま、それでは科学的に検証しようということになった。

向井 譲教授(静岡大学)、横山敏孝博士らの調査で、同じではないかと疑われていた、大輪の白い花が咲く系統の「太白山(たいはく)」と「駒



写真二枚・かつての志木小学校校庭の桜を偲ぶ



切り絵・岡橋から黒目川堤の桜並木を見る  
制作・池田 要氏

## この人 根津嘉一郎

### 東武鉄道をつくった財界人

東武鉄道の創業者として知られる根津氏は、また東上線の活性化のために、二つの遊園地山梨県の出身、郷里山梨の事業、成増の「兎月園」において土地の投資で財(とげつえん)と「朝霞大寺院」を展開した。を行って甲州財閥の一人となり、東京商工会議所であった花岡知爾氏議員に就任、衆議院議員に当選した。東京電灯を経て東武鉄道の経営に参画したが、明治三十八年には取締役社長に就任した。

当初北千住―久喜間に開業した東武鉄道は、明治末に、足利、大田、桐生、伊勢崎へと延伸されたが、大正九年には、池袋―坂戸間に敷設された東上鉄道を合併、同十二年に小川町まで延伸された。

一方「朝霞大寺院」は、昭和八年、朝霞ゴルフ場に隣接する土地を買収、朝霞公園として整備し、大仏と梵鐘、それに洋の東西の公園の粋を集めた庭園を含む構想によってつくられた。本紙の二面

東上線の敷設によって、根津氏はこの地域に住む人々の生活や経済に対して莫大な変革をもたらした事業家であるが、鉄道事業のほか、その他多くの会社の経営に関わ



写真「東武鉄道百年史」十六ページに掲載された初代社長としての根津嘉一郎氏

「歴史を紐解く」の金子氏が執筆された「まぼろしの朝霞大仏」に記されたように、工事は着々と進み、昭和十一年には、根津氏の記念碑が建立され、自身が出席して除幕式が行われた。

根津氏は文化的な事業をも行った。その一つは、豊島区豊玉上の二万五千坪(八二五〇m<sup>2</sup>)の敷地に創立した、武蔵高等学校(現武蔵大学および中学校、高等学校)である。この七年制高等学校は、卒業生が無試験で帝国大学に入学できるように設定され、官学の第一高等学校(現東京大学教養学部)と並ぶ名門となった。

根津氏は昭和十五年鬼籍の人となったが、葬儀は武蔵高等学校葬をもって行われ、各界の代表者多数が参列した(享年八十二)。

まぼろしの大仏と梵鐘の根津パークの跡地の一部は、現在では武蔵大学のグラウンドとなり、川越街道に沿った朝霞警察署の向かいには、瀟洒(しょうしゃ)な学生寄宿舎「朝霞プラザ」が建てられている。

以上の記事は、「東武鉄道百年史」(平成十年、東武鉄道社史編纂室編集、同社発行)を参考にして記述した。



根津公園はいま(緑の斜線)



陸上自衛隊の門



参考写真

国道254、東京の方向をみる。右側崖の上は武蔵大学グラウンド。左手に朝霞警察署、その向かい側右手に武蔵大学朝霞プラザ(大学学生寮)を望む

氷川神社の境内は静寂

膝折の氷川神社の裏は自衛隊のフェンス



朝霞四小の裏手の松の木立。その奥は朝霞高校

武蔵大学グラウンド、いくつもの照明灯が立つ

遠い山並み。広大な訓練場



木立が望まれ、ときどき車が走る

その後、朝霞市史編纂室で調査を行なわれましたので、朝霞市史を参考にして一部書き直しました。

「新座の環境と歴史を守る会」の機関誌「にいくらごおり」の表紙本紙十三号に同会の紹介があります

PC初級講座

文書を「アcrobat・リーダー」で読む

インターネットのホームページを閲覧するとき、「Acrobat Reader（アcrobat・リーダー）」というソフトウエアを使って読んだり、プリントする機会が増えてきました。

例えば朝霞、志木、新座、和光各市のホームページを開くと、申請書、提案書のほか、広報などがPDF形式で保存されており、このファイルを開き、出力するために必要なソフト、Acrobat Readerをダウンロードする手順が示されています。閲覧したいPDFの

アイコンをクリックすると、自動的にダウンロード・マネージャーが開かれ、デスクトップにダウンロードされるように設定されている場合もあります。もちろんデスクトップに保存された文書は、オフラインで読むこともできます。

Acrobat Readerで閲覧するPDFは、文書の規格をもっており、紙に出力すると、公式文書として使えます。文字はもちろん絵や図なども挿入できるので、電子書類として広く普及してきました。公的機関で情報を公開する資料には、もっぱらPDFが採用されるようになりました。

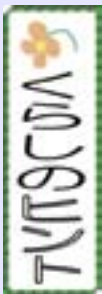
さてこのPDFファイルは、93年にアドビ社が

開発し、規格を定めたソフトウエアで、Portable Document Format (ポータブルドキュメントフォーマット) の略なのです。相手のOSやソフトが異なると、開けない、読めないという悩みを解消しようとして生まれました。PDFを読むためのソフト「アcrobat・リーダー」が97年に無償化されたため、この形式が急速に普及し、いまでは世界標準の規格といわれるまでに

なりました。メールに添付される機会も多くなりました。

PDF文書をつくるためには、市販のAdobe Acrobat (最新のバージョンは、6.0) が必要になりますが、手順は比較的簡単です。

これが電子印刷物と言われる所以です。



咀嚼は全身の健康にかかわる

咀嚼は生きてゆくための基本、もっと大切にしなければ――

ものを食べるとき、「噛む」ということは欠かせない行為です。しかし平生の生活では、急いで食べる、余り噛まずに飲み込む、といったことが当たり前という人もいます。

噛むときには、口は無意識のうちにも実は精密な動きをしているのです。左右を交互に使って食べ物を噛み砕き、すり潰

しながら、唾液を混ぜ合わせ、舌が食道へと送り込みます。あごも横にずれながら咀嚼を助けます。

こうした細かな動きは、周りの筋肉や神経とも密接に関わっていて、食べ物を十分に噛まないときには、体全体にいろいろな影響が現われます。

咀嚼によって分泌される唾液の中の消化酵素は、栄養を取り込みやすくするので、抗菌作用をもつ成分は、口の中を清潔に保ちますが、噛む度数が少ないと、唾液が十分出ないうちに飲み込むことになるので、内臓の負担が増し、虫歯や歯周病にもかかりやすくな

るといわれています。それだけではありませんが、岐阜大学医学部の小野塚実先生ほかは、噛めなくしたマウスを使って、場所を覚える能力が下がることを実験で確かめました。「日本咀嚼学会」には、歯学、生理学、栄養学を専門とする幅広い方々が参加され、咀嚼について詳しく研究しています。

噛むことは、人の脳の活動は、栄養を取り込みやすくするので、抗菌作用をもつ成分は、口の中を清潔に保ちますが、噛む度数が少ないと、唾液が十分出ないうちに飲み込むことになるので、内臓の負担が増し、虫歯や歯周病にもかかりやすくな

る。噛むことは、人の脳の活動は、栄養を取り込みやすくするので、抗菌作用をもつ成分は、口の中を清潔に保ちますが、噛む度数が少ないと、唾液が十分出ないうちに飲み込むことになるので、内臓の負担が増し、虫歯や歯周病にもかかりやすくな

る。噛むことは、人の脳の活動は、栄養を取り込みやすくするので、抗菌作用をもつ成分は、口の中を清潔に保ちますが、噛む度数が少ないと、唾液が十分出ないうちに飲み込むことになるので、内臓の負担が増し、虫歯や歯周病にもかかりやすくな

が活発になることが明らかに、良く噛むことは、痴呆（ちほう）の予防に役立つことが示唆されています。（朝日新聞、平成15年12月8日の記事を参考に記述しました）

咀嚼は生きてゆくための基本、もっと大切にしなければ――

ものを食べるとき、「噛む」ということは欠かせない行為です。しかし平生の生活では、急いで食べる、余り噛まずに飲み込む、といったことが当たり前という人もいます。

噛むときには、口は無意識のうちにも実は精密な動きをしているのです。左右を交互に使って食べ物を噛み砕き、すり潰

田子山富士が志木市の民俗文化財に指定される

田子山富士

志木市本町二丁目敷島神社の一角は「田子山（たごやま）」と呼ばれていた。境内の北側に、明治二年十月から二年八月の歳月をかけて完成させた富士塚がある。高さ八・五m、周囲二五・三m、斜度三十九度の築山は「田子山富士」と呼ばれている。

この場所にあった小山の上に土を盛り、富士山を模して築かれたものである。

いまでも残る多くの石造には、県内はじめ、都内を含めて、二千人以上の寄進者の名前が留められている。当時の引又宿（現在の志木市本町）で醤油醸造業を営んでいた高須庄吉が発起人となり、繁栄していた引又河岸の舟運関係者、近隣の有力者のほか、寄進者として、歌舞伎役者の岩井半四郎、尾上菊五郎も名を連ねている。築造の規模の大きさは、他の富士塚と比較しても並外れていて、当時の引又宿の経済力と富士山信仰への思いを伺い知ることができ

田子山富士の場所には、もともと古くから小山があつて、古墳ではないかとの説もあった。その背後は「富士下」と呼ばれ、断崖を形成していた。斜面林からは清水が湧き、新河岸川につづく湿地帯で、かつては海の浅瀬と丘陵が接するところとされ、動物、植物の天然の宝庫であつた。

いま田子山富士に登ることは禁止されているが、頂上からは、新河岸川を越えて、さいたま市一帯が遠望でき、山の裏手からは同市に林立する高層ビルが遠望される。



田子山富士の直下には、福祉のためのケアハウスが建設されたが、それにつながる一帯は、志木市が地主から借用、管理する「親水公園」ができた。ただし、本紙七号で報じられたように、この公園には、人工的な改変が過ぎ過ぎに加えられ、生態系の危機が心配されている。

資料「田子山富士」上、下二巻、文化財調査報告書No.二十二、志木市教育委員会、本紙第三号三面に池田要氏の切り絵が掲載されている。



直接送付の御案内

本紙は、各市の市民会館、図書館、市民センターなどの公共機関の、フリーペーパーのコーナーで配布していますが、直接購読を希望される場合、送料を御負担されれば、郵送致します。郵送先を記入の上、1部当たり送付のための切手（90円）×部数を同封の上、本紙1面右上の編集人までお送りください。

右2枚：舞台裏の楽屋で古典舞踊「供奴」の顔づくり  
埼玉芸術劇場で

下2枚：「雨の五郎」を踊る  
古典舞踊では子供のころから基本を学ぶことが大切



特定非営利活動法人 NPO「市民フォーラム」

この法人は地域住民と行政に対して取材活動を行い、報道によって市民の公共参加を推進し、地域内のメディア事業を行って、市民のコミュニケーションを向上させることを目的としています。地域情報紙「市民プレス」はNPO市民フォーラムが編集・発行し、無料で配布します。

◇ 読者の「オピニオン（意見／考え）」を募集します。

TEL 090-3048

□ 本紙は暮らしやすい地域を創るために、市民の方々の取材を通して皆様と共に考えます。

□ また市民が行政と情報を共有することを求めます。

\*\*\*